

グリーン・プロセッシング(低エネルギー消費による合成法)による機能性材料の革新 【オーガナイザー】



渡邊友亮
明治大

坂元尚紀
静岡大

安達信泰
名工大

松田晃史
東工大

山口修平
愛媛大

宮崎英俊
島根大

【セッション概要】優れた機能性材料を低環境低負荷条件下で合成するには、①原料組成の検討、②薄膜や微粒子などのナノ構造化、③テンプレートやシードの利用、④光触媒の導入等によって合成温度を著しく低下させることが有効である。これら合成プロセスの研究により、単に合成に必要とするエネルギーの消費量を抑えるのみでなく、低炭素化の実現、有機物とのハイブリッド化、生体組織内における合成、といった革新的な機能性材料の開発が期待できる。

本セッションでは合成時のエネルギー消費量を抑制して高機能性セラミックスを合成するための【グリーン・プロセッシング】について議論をすることにより、この分野のさらなる発展の方向について考えていきたい。

【セッションキーワード・トピックス】

低温合成、機能性セラミックス、微粒子、薄膜、ナノ構造、プラズマ、メカノケミカル反応、ソノケミカル反応、水熱合成法、触媒など

【招待・依頼講演者】(敬称略)

山田博俊(長崎大学)、さらに調整中

【発表形式】口頭発表またはポスター発表を募集します。ともに優秀な発表は表彰しますので、学生や若手の研究者の方は積極的に応募してください。

【共催・協賛等(予定)】[協賛]日本磁気学会、日本化学会、応用物理学会、電気化学会、粉体工学会、粉体粉末冶金協会

[協力] 日本セラミックス協会電子材料部会、同基礎科学部会

【連絡先】tomowata@meiji.ac.jp (渡邊 友亮)